

令和5年度奈良市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 会議録			
開催日時	令和6年3月19日(火) 午後2時から午後2時30分まで		
開催場所	奈良市役所 北棟202会議室		
出席者	委員	国分分科会会長、中井委員、七海委員、森委員、安井委員、山本委員【計6人出席】 (欠席：白濱委員)	
	事務局	【福祉部】嵯峨部長、有本参事 【福祉政策課】藤原課長補佐 【障がい福祉課】浦課長、田邊課長補佐、田中企画管理係長、芦谷自立支援給付係長、上田在宅支援係長、竹川生活支援係長、中田精神福祉係長、尾崎療育係長	
開催形態	公開(傍聴人 0人)	担当課	福祉部障がい福祉課
議題 又は 案件	1 議事録署名人の選任について 2 「第7期奈良市障害福祉計画」「第3期奈良市障害児福祉計画」原案について		
決定又は 取り纏め 事項	1 議事録署名人について、国分会長が自身の他に安井委員を指名した。 2 審議を行った「第7期奈良市障害福祉計画」「第3期奈良市障害児福祉計画」原案について承認した。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>1 議事録署名人の選任について 国分会長の他1名の議事録署名人について、会長が安井委員を指名した。</p> <p>2 「第7期奈良市障害福祉計画」「第3期奈良市障害児福祉計画」原案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第7期奈良市障害福祉計画」「第3期奈良市障害児福祉計画」原案について、資料をもとに、概要と重点項目事業を中心に事務局から説明。 ・委員よりの意見及び質疑等 <p>安井委員：本計画は、障害者計画等策定委員会で、内容を検討した。パブリックコメントの数は少ないが仕方がない。</p> <p>本委員会の趣旨としては、原案が障害者総合支援法や児童福祉法に基づいたものか確認することだ。</p> <p>また、本計画は実施計画であるために国の基本指針に基づく内容が大変多いため、奈良市の独自色を出すのは難しい。その中でも、災害対策として福祉避難所や新型コロナウイルス感染症等の感染症蔓延時の対策などについては明記がある。</p> <p>アンケートや奈良市地域自立支援協議会での指摘事項を受けて、事業者</p>			

の質を高めることを目的に、第5章及び6章でサービスの総量規制を実施する可能性についても言及されている。

医療の分野については、常時医療の必要な障害者児に関して高橋委員（東大寺福祉療育病院）のご指摘をもとに、医療的ケア児のコーディネーターの配置や強度行動障害のある方のニーズ把握などの目標も設定した。

今後も奈良市地域自立支援協議会でチェック機能を十分に果たしていただき、計画を遂行して頂きたい。

国分会長： 現行計画の達成率はどうか。

事務局： 第3章に記載している。毎年、奈良市地域自立支援協議会に報告し進捗を確認頂いている。例えば「福祉施設の入所者の地域生活への移行」については達成しているが、「地域生活支援拠点等の整備」については達成できていない。

国分会長： 第1章でPDCAサイクルについて言及されているので、計画期間中に問題点があればその都度改善して頂きたい。

山本委員： 2点ある。1点目は、計画策定委員会に聴覚障害者や視覚障害者がなぜ入っていないのかということだ。

2点目は、パブリックコメントの募集はどのようにやっているのかということだ。奈良市のホームページを見ても分かりにくく、パブリックコメントのページまでたどりつかない。総数が3者からというのでは少ないのではないか。

事務局： 計画等策定委員会については、各障害別にすべての方を網羅するのは難しいが、奈良市心身障害者・児福祉協会連合会長に委員をお願いしており、連合会に加盟をしている聴覚障害者協会・視覚障害者協会の方のご意見も取りまとめて話をして頂いている。

パブリックコメントについては、しみんだより12月号、ホームページ、当課及び各出張所窓口で周知した。次回は、事業所の方に周知をするなど周知方法を検討していきたい。

資 料

【資料1】「第7期奈良市障害福祉計画」「第3期奈良市障害児福祉計画」
原案